

2 遺体の 発掘終わる

熊本医学部の公衆衛生学、体質

医学研究所などの水俣病合同調査団が、八日から水俣市月の浦で墓地を発掘していたが、二遺体を発掘して終わった。

水俣病の疑いが持たれている川本嘉藤太さん（四十年四月六十八歳で死亡）とその妻力子さん（二十三年五十一歳で死亡）の二人で、遺骨は九日夜寺に預け、その後熊本にはほ全部を持ち込み衛生学教室で分析する。分析結果が出るのは約三カ月後。熊本は引き続き墓地発掘を続けることにしている。